

# 祭

寺田寅彦

青空文庫



毎年春と秋と一度ずつ先祖祭をするのがわが家の例である。今年の秋祭はわが帰省中に  
 との両親の考えで少し繰り上げて八月某日にする事ときめてあつたが、数日来のしけで御  
 供物肴ぞうきんがないため三日延びた。その朝は早々起きて物置の二階から祭壇を下ろし煤すすを払い  
 雑巾をかけて壇を組みたてようとすると、さて板がそりかえつていてなかなか思うよう  
 にならぬのをようやくたたき込む。その間に父上は戸棚から三さん宝ぼうをいくつも取下ろして  
 一々布巾ふきんで清めておられる。いや随分乱暴な鼠ねずみの糞ふんじゃ。つつみ紙もところどころ食い破  
 られた跡がある。ここに黄ばんだしみのあるのも鼠ねずみのいたずらじゃないかしらんなど独語  
 を云いながら我も手伝うておおかた三宝の清めも済む。取散らした包紙かみすの黴かびくさ臭においは奥  
 の間の縁へほうり出して一ぺん掃除をする。置所から色々の供物くもつを入れた吠かますを持つてくる。  
 父上はこれに一々水引みずひきをかけ綺麗にはしを揃えて、さて一々青い紙と白い紙とをしいた  
 三宝へのせる。あたりは赤と白との水引の屑なすが茄子なすの茎へら人蔘にんじんの葉の中にちらばっている。  
 奥の間から祭壇を持つて来て床の中央へ三壇にすえ、神棚から御厨子みずしを下ろし塵を清めて  
 一番高い処へ安置し、御扉をあけて前へ神鏡を立てる。左右にはゆうを掛けたさかきだい神台たい一  
 対。次の壇へ御洗米と塩とを純白な皿へ盛つたのが御焼物の鯛をはさんで正しく並べられ

る。一番大きな下の壇へは色々な供物の三宝が並べられる。先ず裏の畑の茄子冬瓜とうが小豆人參里芋を始め、井戸脇の葡萄塀なつめの上の棗、隣から貰うた梨。それから朝市の大きな西瓜すいか、こいつはごろごろして台へ載りにくかったのをようやくのせると、神様へ尻を向けているのは不都合じやと云い出してまた据え直す。こんな事でとうとう昼飯になった。食事がすんでそこらを片付けるうち風呂がわいたから父上から順々にいつてからだを清める。風呂から出て奥の間へ行くと一同の着替えがそろえてある。着なれぬ絹の袴のキュー／＼となるのを着て座敷へ出た。日影が縁へ半分ほど差しこんで顔がほて／＼するのは風呂に入つたせいであろう。姉上が数々の子供をつれて来る。一同座敷の片側へ一列にならんで順々拝が始まる。自分も縁側へ出て新しく水を入れた手水鉢ちようすばちで手洗い口すすいで霊前にぬかずき、わが名を申上げて拍手かしわでを打つと花瓶の檜扇ひおうぎの花びらが落ちて葡萄の上にとまつた。いちばん御拝ごはいの長かつたは母上で、いちばん神様の御氣に召したかと思われるはせいちゃんのであつた。一順すむと祭壇の菓子を下げて子供等に頂かせる。我も一度はこの御頂きをうれしがつた事を思い出してその頃の我なつかしく、端坐したまう父母の鬢びんの毛の白いのが見えるも心細いような気がする。子供等は何か無性に面白がつて餅を握りながらバタバタと縁側を追い廻る、小さいのは父上の膝で口鬚くちひげをひつぱる。顔をしかめながら

父上も笑えば皆々笑う。涼しい風が吹いて来て榊のゆうがサラサラと鳴り、檜扇がまた散った。そのうちに膳が出て来て一同その前にすわる。「どうですかせいちゃん、神様の前で御膝を出して。ソレ御つゆがこぼれますよ」と云う一方では年かきの姪が小さいのにオツキ御口をさせている。夕日が向うの岡にかくれて床が薄暗くなったから御神燈をつけ御てらしを上げた。榊の影が大きく壁にうつって茄子や葡萄が美しくかがやいた。父上のいくさの話が出て子供等が急におとなしくなつたと思つたら、小さいのとせいちゃんは姉上の膝の上ではや寝てしまつた。姉上等がかえると御てらしが消えて御神燈の灯がバチバチと鳴る。座敷がしんとして庭ではくつわむし虫が鳴き出した。居間の時計がねむそうに十時をうつたから一通り靈前を片付けて床に入った。座敷で鼠が物をかじる音がするから見に行つたら、床の真中に鏡が薄くくらがりの中に淋しく光っていた。

(明治三十二年十一月『ホトトギス』)



# 青空文庫情報

底本：「寺田寅彦全集 第一巻」岩波書店

1996（平成8）年12月5日発行

底本の親本：「寺田寅彦全集 第一巻」岩波書店

1985（昭和60）年7月5日第3刷発行

初出：「ホトトギス 第三巻第二号」

1899（明治32）年11月10日発行

※初出時の署名は「牛頓」です。

入力：Nana ohbe

校正：川向直樹

2004年1月19日作成

2016年2月25日修正

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.aozora.gr.jp/>) で作られ

ました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

# 祭

寺田寅彦

2020年 7月17日 初版

## 奥付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail [info@aozora.gr.jp](mailto:info@aozora.gr.jp)

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>  
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。  
<http://tokimi.sylphid.jp/>